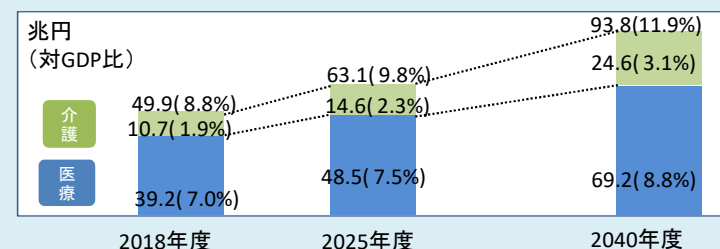


- ・社会保障制度の持続可能性そのものが課題となる中、QOLの向上を図りつつ社会保障に係る負担を軽減し、あわせて社会保障制度を「支える力」を強くする施策の強力な推進が必要。
- ・全国知事会では、「持続可能な社会保障制度の構築に向けた会議」における議論と先進・優良事例の横展開の取組をスタートさせた。

■懸念される医療・介護給付費の増大



(出典)厚生労働省資料より作成
注: 2025年、2040年の「医療」の値については、2つの仮定の平均値。

■持続可能な社会保障制度の構築に向けた会議 (平成30年7月27日設置)

全国知事会としてのそれぞれのステージにおける取組の方向性

健康的なステージ

- ・「**ハイリスクアプローチ**」と「**ポピュレーションアプローチ**」の2元的展開。

必要なステージ

- ・かかりつけ医など日常的な診療へのアクセス点の「**分散確保**」と、医療人材や機器などを集中配置した「**拠点**」の設置による、限りある医療資源の「**分散と集中**」。

回復期ステージ

- ・「病院完結型」から「**地域完結型**」への移行が重要。そのためにも、医療・介護の連携を強化。

個々のステージやパッケージ全体としてのPDCAが重要！

- ⇒EBPMの徹底等による受益と負担の提示
- ⇒住民・関係者の理解促進
- ⇒取組の効果が高まる！

支える力の強化

- ・**子ども・子育て支援は「未来への投資」、健康寿命の延伸は「投資」と位置づけ、一層取組を強化・拡充。**

国に求める事項

○健康づくりは、個々人のQOL向上にとどまらず、社会の「支える力」を強くすることにつながるものであることから、**疾病リスクが顕在化した層に対する重症化予防等の働きかけとともに、無関心層等住民全体を対象とした生活習慣病予防等の働きかけも強化すること。**

○地域包括ケアシステムの構築に向けては、地域医療介護総合確保基金の拡充や地域の実情に応じた柔軟な活用を可能とする見直しなどにより、**限りある医療資源の「分散と集中」を進め、地域医療基盤整備の支援を行うとともに、医療・介護連携強化に向けた取組を強力に後押しすること。**あわせて、共生型サービスの推進等による**地域共生社会の実現に向けた取組を強力に後押しすること。**

○**受益と負担を示す**ことにより、取組に対する住民や関係者の理解促進が必要であることから、様々なデータの活用による**EBPMを促進**すること。

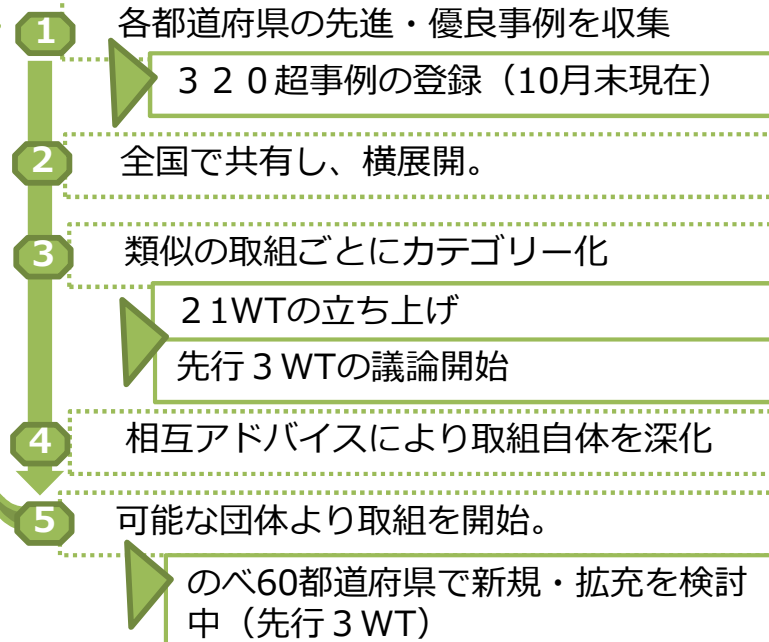
○次世代育成支援については、「**未来への投資**」として**一層の強化・拡充**とともに、**地域の実情に応じた多様な取組**が可能となるよう支援すること。

■「健康立国宣言」に基づく先進・優良事例横展開の取組

- 地方においては、それぞれの地域の実情を踏まえて、工夫を凝らした取組を実施
 - QOLの向上を図りつつ社会保障に係る負担を適正化する取組
 - 働き方改革など「支える力」を強くするための取組
- 「行動する知事会」として、「健康立国」実現に向けたアクションプランに基づき、横展開をスタート（右図）。
- 3つのWT（「重症化予防WT」、「医薬品の適正使用の推進WT」、「仕事と子育ての両立支援WT」）を先行的に設置。
- 3先行WTでは、横展開を進める上での課題が浮き彫りに。

⇒今後本格化する社会保障制度改革の議論をより効果的に進めるためにも、**横展開を一層深化・加速化させ、「健康立国」の実現を強力に推進していく決意**である

PDCA
サイクル
を展開



国に求める事項

◆重症化予防WT

（※健康的なステージ）

- (1) 糖尿病が重症化した際の深刻な症状をはじめ**治療の継続や定期検査の重要性**などについて、国をあげての**周知・啓発活動を強化**すること
- (2) **人材確保等に対する支援**を行うとともに、効果的な保健指導力向上のための**スキルアップ研修を充実**。併せて、市町村のみならず、全保険者への財政的支援等の拡充すること
- (3) 受診勧奨や保健指導の**QOLへの寄与度と医療費抑制効果の全国共有の算出方法を考案し、可視化**すること

◆医薬品の適正使用の推進WT

（※医学的管理等が必要なステージ、回復期ステージ）

- (1) 重複投薬是正等による**本人の身体的・金銭的メリット等**について、患者はもとより保険医療機関等に対し、国をあげての**周知・啓発活動を強化**すること
- (2) 服薬指導等の対象とする**基準や事業評価方法**について、国として**適切な根拠とともに一定の基準や方法を示す**こと
- (3) 「**保健医療データプラットフォーム**」の**2020年度本格運用**に向けて、国民の理解促進や保健医療機関等が参加しやすい環境整備を図る等**実効性を高める**こと

◆仕事と子育ての両立支援WT

（※「支える力」の強化）

- (1) 長時間労働の是正等**多様な担い手による育児参画を促進**する環境整備を図るとともに、社会全体で**子育てを応援する機運醸成に向けた施策を強化**すること
- (2) 国と都道府県の役割分担を明確にした上で、十分な連携体制のもと**一層効率的な事業推進**を図ること
- (3) 仕事と子育ての両立については、一朝一夕で効果が表れるものではないため、交付金等の制度設計に当たっては、**複数年度に渡る事業を対象とするなど、運用の弾力化と拡充**を行うこと

先進優良事例の横展開ワーキングチーム

先行WT

その他WT
(今年度中にとりまとめ)

健康づくり分野

重症化予防WT
(リーダー：埼玉県)
(構成団体34)

健康づくりプロジェクトWT
(リーダー：神奈川県)
(構成団体36)

インセンティブを活用した健康づくりWT
(リーダー：静岡県)
(構成団体28)

運動習慣・食生活の改善WT
(リーダー：新潟県)
(構成団体28)

特定健診・がん健診の受診率向上WT
(リーダー：栃木県)
(構成団体30)

次世代育成支援・女性活躍促進分野

仕事と子育ての両立支援WT
(リーダー：新潟県)
(構成団体28)

結婚の希望を叶えるWT
(リーダー：山口県)
(構成団体30)

妊娠・出産の希望を叶えるWT
(リーダー：滋賀県)
(構成団体25)

子育ての経済的負担の軽減WT
(リーダー：鳥取県)
(構成団体24)

女性の活躍促進WT
(リーダー：山形県)
(構成団体24)

子どもが夢をはぐくむことができる社会づくりWT
(リーダー：広島県)
(構成団体29)

地域包括ケアシステム分野

医薬品の適正使用の推進WT
(リーダー：高知県)
(構成団体34)

地域医療構想実現WT
(リーダー：埼玉県)
(構成団体28)

高齢者の社会参加WT
(リーダー：長野県)
(構成団体21)

効果的な介護予防WT
(リーダー：大分県)
(構成団体25)

多様な福祉サービスの提供WT
(リーダー：富山県)
(構成団体20)

地域医療の担い手確保WT
(リーダー：徳島県)
(構成団体22)

在宅医療・介護連携推進WT
(リーダー：高知県)
(構成団体33)

介護人材WT
(リーダー：群馬県)
(構成団体32)

認知症対策WT
(リーダー：熊本県)
(構成団体24)

その他分野

データ解析の活用事例WT
(リーダー：栃木県)
(構成団体29)

2018.12.15時点

合計 21チーム

持続可能な社会保障制度の構築に向けた会議（7月27日設置）

【開催実績】

■ 第1回(8/22)

- ・ 権丈 善一 慶應義塾大学商学部教授
「健康立国、人生100年、そして高齢者の定義再検討時代における社会保障のあり方」
- ・ 松田 晋哉 産業医科大学医学部教授
「データに基づく医療介護行政の推進に向けて－経済・財政一体改革推進会議での議論を踏まえて－」

■ 第2回(9/5)

- ・ 清家 篤 慶應義塾学事顧問・日本私立学校振興・共済事業団理事長
「豊かな長寿社会を将来世代に」
- ・ 松田 茂樹 中京大学現代社会学部教授
「少子化対策について－すべての子育て世帯に対する支援の充実を－」

■ 第3回(10/5)

- ・ 阿部 正浩 中央大学経済学部教授
「持続可能な社会保障と労働政策」
- ・ 阿部 彩 首都大学東京人文社会学部教授
「貧困の子どもの実態と対策」

■ 第4回(10/11)

- ・ 今中 雄一 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野教授
「健康・医療・介護の質・経済－地域システムの可視化から向上・再構築へ－」
- ・ 増田 寛也 東京大学公共政策大学院客員教授
「社会保障分野における地方の役割と責任について」